

1	会議名	令和7年 第12回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和7年10月21日(火)午後2時30分～午後3時25分	
3	開催場所	岩国市役所2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 賀屋 和夫 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 藤本 佐祐里 学校教育課長 : 五郎丸 哲也      学校教育課主幹 : 松本 哲也 青少年課長 教育センター所長兼務 : 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 河本 葉子 中央図書館長 : 藤中 朗子      科学センター館長 : 大黒屋 誠 由宇支所長 : 山本 英裕      周東支所長 : 中村 洋一 錦支所長 : 常国 良徳      美和支所長 : 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 : 山本 祥寛、廣本 菜穂美	
8	会議録署名委員	村尾 利勝、岡崎 陽子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第14号	所管事項について
	日程第3	議案第29号	令和7年度岩国市社会教育功劳賞の表彰について
	会議の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまから、令和7年第12回岩国市教育委員会会議を開会します。</li> <li>・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、村尾委員と岡崎委員にお願いします。</li> <li>・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。</li> <li>・それでは、日程第2「報告第14号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。</li> </ul>	
	由宇支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月11日(土)に開催しました「森林体験アドベンチャー 木とともだちになろう」ですが、過疎化が進む由宇町の中倉地区の住民で結成した中倉あすなる会の「里山再生プロジェクト」との共催で、薪割り体験や、薪窯を利用したパン作り、ツリークライミングの体験会等を実施しました。天候にも恵まれ、市内の小学生11人が参加し大変好評でした。来月15日もツリークライミングの体験会を3部構成の定員各15人で開催する予定です。</li> </ul>	
	周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月9日(日)に開催予定の玖西駅伝競走大会は今年で第67回になる</li> </ul>	

<p>錦支所長</p>	<p>大変伝統のある大会で、例年 11 月の第 1 日曜日に開催していましたが、昨年から中学生の駅伝大会が同じ週末に変更になった関係で、中学生の参加が非常に少なかったこともあり、今年から第 2 日曜日に日程を変更しています。昨年は中学生男子の部 9 チーム、女子の部が 2 チームの参加でしたが、今年はそれぞれ 14 チーム、6 チームと大幅に増えており、日程変更の成果だと思っております。今後、部活動の地域移行が進んでまいりますと、中学校単位の参加から地域クラブ単位になってくるので、アプローチの仕方が課題になってくると考えています。また、ボランティアスタッフの高齢化も進んでいますので、コースの変更も含めて、抜本的な改革を検討していく必要があると感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月の行事予定に 1 件追加をお願いします。11 月 19 日（水）9 時から 16 時 30 分の予定で、にしきよろず学問所で社会見学を行います。周南市美術博物館等を訪問する予定です。</li> <li>・ 9 月 10 日（水）に、昨年度に引き続き、山口消防防災探究会の方を講師にお招きして、美川カレッジと美川地区自主防災会連絡協議会の合同で「防災講習会」を開催いたしました。今回は水害対応ということで、ハザードマップを使用した「わたしの避難カード」の作成を行いました。参加者の方は自分の家の場所のハザードマップを見て、何の災害の危険があるのか、いつ避難を開始すればよいのか、どこに避難するのかについて、真剣に考えておられました。美川地区におきましては、水害については平成 17 年の台風 14 号がかなり大きな災害でしたので、皆さん真剣に取り組んでおられました。</li> </ul>
<p>美和支所長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 16 日（日）に市長部局のスポーツ推進課の行事として開催される美和駅伝競走大会に、美和中学校が授業として参加します。この大会は今年で 62 回目を迎える大会です。近年は交通規制の為なかなか実施が厳しい大会ですが、一般道をコースとして警察の協力も得て大会を開催いたします。</li> </ul>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回、中学校の体育祭が随分主体的になってきたという報告をさせていただきましたが、この度、美和小学校と玖珂小学校の運動会に行ってきました。その中で、美和小学校の運動会では、プログラムをワープロで打ち出さずに、学年ごとに児童たちがイラストを入れたり、手書きで作成したりしていました。玖珂小学校では、高学年が組体操をするのですが、プログラムの構成や表現の仕方を児童たちのアイディアの中から仕上げて、その主体的に取り組んだ姿を他学年の先生方が評価し、上級生の在り方をしっかり位置付けて全校的に取り組んでおり、大変活気を感じたところです。今週末はかなり多くの中学校で文化祭が予定されています。合唱コンクールに関しては、川下中学校では、愛宕小や川下小の 5・6 年生が合唱の練習を見に来るとか、麻里布小学校も麻里布中学校に合唱の練習を見学に行くなど、それぞれが肌で感じたことを持ち帰っ</li> </ul>

<p>青少年課長</p>	<p>て、11月に予定されている小学校音楽会へとつなげているという実践報告も受けており、楽しみにしております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月は山口県が「いじめ防止・根絶強調月間」に定めている月ですので、それに伴い岩国市のいじめ認知件数等をお示ししております。いじめの認知件数が多いことは決して悪いことではなく、より積極的な認知を行い、いじめ見逃しゼロを目指し、解消率100パーセントに向けて取り組んでいくことを目標に掲げています。県の数字と比べると、小学校の認知率が低く、中学校の認知率が高いという状況です。したがって、小学校については、特に見逃しがどうかを含めて各学校に認知率を上げるよう指導しています。</li> </ul>
<p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月10日（月）に周東町の森林体験交流施設・丸太村において、放課後子供教室を運営される実行委員会の方々を対象に、「放課後子供教室合同研修会」を開催いたします。研修の内容としては、自然豊かで開放的な丸太村でネイチャーゲーム体験を子供たちと同じ感覚で体験していただき、その後、教室を運営される上での課題や工夫等について情報交換をしていただく予定としています。また、今回の研修会では、近隣市町の放課後子供教室にも参加を呼びかけており、下松市等からも参加いただく予定となっております。近隣市町の方とも交流を深めていただき、今後の運営に是非活かしていただければと思っております。</li> <li>・中央公民館の学校・家庭・地域が連携して行う地域連携教育活動の取組についてですが、川下地区では、11月27日（木）に家庭教育講演会として、「けん玉体験」が新1年生とその保護者、地域の方を対象に川下小学校で開催されます。また、小瀬分館ですが、15日に小瀬小学校150周年記念行事「未来への鼓動～虹をかけるメロディ」が小瀬小学校で全世代の方を対象に行われる予定です。</li> </ul>
<p>中央図書館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライブラリーバッグの寄贈について御紹介します。10月4日（土）に開催されました「第38回小さな親切運動岩国支部推進大会」において、小さな親切運動岩国支部様からライブラリーバッグを御寄贈いただきました。同支部からは、平成22年度、令和4年度からは毎年車いすやブックカートの寄贈をいただいております。今回いただいたバッグにつきましては、今後利用者への配布方法などを検討していきたいと考えております。</li> </ul>
<p>科学センター館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の「科学の祭典」の映画上映について、定員が60人となっておりますが、130人の誤りですので修正をお願いします。</li> <li>・チラシをお配りしているとおり、11月9日（日）に「青少年のための科学の祭典」を開催します。毎年、学校や団体にブース出展していただき、科学工作など科学を1日で体験してもらっていますが、今年度は、職員の先生チームによるブーメランを作って飛ばすコーナーを新たに設けるなど昨年度から3ブース増やし、14ブースとしています。ブースコー</li> </ul>

<p>教育政策課長</p>	<p>ナーに加え、子供達に人気の科学漫画のサバイバルシリーズから「深海のサバイバル」の映画上映も同時開催し、より多くの人に来場してもらいたいと考えています。なお、映画の予約枠 130 人分はすでに埋まっている状況です。また、今回のチラシ裏面を利用して、科学センターの移転のお知らせも同時に行っています。今後もこのようなイベントチラシなどを利用し新たなセンターの周知をしていきたいと考えています。</p>
<p>教育長 村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月に行われた外務省と米国防省の教育部が共催で実施したイベント「SEED project」について御紹介します。市教委は、このイベントの開催協力をしています。「SEED project」は、2020年から始まった事業で、在日米軍施設が所在する主要な地域（日本国内7か所）において、それぞれで実施されており、言語や文化を越えた友達との出会いや異文化への興味や関心など、そのきっかけとなる「種」を提供し、日米の学生が交流や対話を通じて、その「種」をみんなで大きく育てていくというプロジェクトで、今回で6回目となります。岩国市では、今年度は9月20日（土）、21日（日）の2日間に渡って岩国基地内のMCペリー・ハイスクールで開催されました。今回参加したのは日米の中高生36人、岩国市の学生、児童生徒が15人、基地側の学生が21人で、6つのグループに分かれ、チームで協力して言語や文化が異なる中でも様々なプログラムにチャレンジしました。2日目には、各グループが錦帯橋を訪れ、市職員から橋の歴史や伝統的な建築構造について説明を受けた後、事前に与えられていた課題「錦帯橋をPRするためのキャッチフレーズを考える」のヒントを探しながら周辺を散策しました。その後再び、基地内に戻ってグループごとに錦帯橋をPRするためのキャッチフレーズをポスターにまとめ、英語と日本語でプレゼンテーションを行いました。6回目となる今回、初めて参加者が基地内の学校を飛び出して錦帯橋でのフィールドトリップを取り入れたこともあって、米側関係者からも、例年に比べて各グループのプレゼンテーションの質が格段に高まったとの感想をいただいています。「SEED project」は、外務省と米国防省教育部が主催するイベントですが、市教委としては、今後もこの取組をしっかりと支援していきたいと思えます</li> </ul>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。</li> <li>・ 学校教育課にお尋ねします。岩国市は部分的にですが、部活の地域移行が順調に始まって、学校の下校時間も17時ということで、先生方の勤務状況も随分改善されてきたのではないかと思います。働き方改革の中で、過去は残業時間が月に50時間から100時間オーバーする先生が7～8割おられたということなのですが、現在、岩国市に限って言えば17時下校ということで、割とゆとりをもって教育に携わることができているのではないかと思います。現状はどうですか。</li> <li>・ 手元に具体的な数字はないのですが、時間外についてはかなり縮減して</li> </ul>

	<p>います。概算ですが、中学校は40時間台、46.7くらいの平均で推移しています。業務アシスタントや自動採点システムの導入で、子供たちに向き合う時間や教材研究を行う時間を確保できるように努めているところです。</p>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動採点システムやアシスタント教員の活用をすることによって、煩雑な事務手続きが省略され、子供に向き合う時間が増える、また、部活の短縮によって、校内での会議等も省略でき、先生方にゆとりを持ってもらえると思うのですが、生徒指導の突発事項やテストなどが近づいてくると、いろいろな業務が発生すると思います。教職というのは、「子供たちと向き合う楽しさ」があるわけです。報道などでマイナスイメージばかり広がり、採用試験についてもなかなか魅力のない職場というイメージで捉えられていますので、良いことがあればどんどんアピールして、教員の質を高めるとか、魅力ある職場だと示していかないと尻すばみになってしまうのではと思います。アピールの場をどこに持っていかかが課題ですよ。</li> </ul>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今、青少年課長と、後期の学校訪問に帯同していますが、両課で点検しているのはホームページの更新です。ずっと昔の行事になっていて、せっかく各学校で頑張っていることが日常的に発信されないというのは良くないと思っています。また、委員ご指摘の通り、煩雑な問題についても、起こってしまったことはできるだけスピーディーに解決に導く。子供たちの笑顔は学校の目標だと思いますので、わかる授業のための研修等をしっかり組んでいくことも大切だと考えています。学校体験制度という県の事業に応募する学校も増えてきたので、各校長先生にしっかり開いてもらって、意欲のある教員に現場の魅力をしっかり体験してもらえたらと思っています。</li> </ul>
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校側も、学校だよりは市報と一緒に地域に回してもらっているし、学校開放のアピールも綿密にやって、地域にはかなり開いていると思います。応援団も学校のために協力してくれて、相乗効果はあるのですが、「教員の魅力」ということで、より多くの先生が生まれるように、さらに猛アピールしてほしいです。採用試験の倍率も低いですよ。1割切っている県もあると聞いています。半数以上が採用を辞退する現状もあるわけですから、教員の魅力についてしっかりアピールしてください。先生が不足する状況にならないようにしていただきたいと思っています。</li> <li>青少年課にお尋ねします。グラフについてですが、昔は「いじめゼロ」と言っていましたが、今は「見逃しゼロ」なのですね。岩国市は県に比べて、小学校で見逃しが多いと感じておられるということですか。</li> </ul>
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、40人近くいる学級で、1学期間に1件もいじめがない、そんな学級があるのかという視点で先生方にアンテナを高く張ってほしいと思っています。毎年傾向として小学校の認知率が低いのは確かで、逆</li> </ul>

村尾委員	<p>に中学校は些細なことでも、いじめである、もしくはいじめの疑いがあるという認識で対応しているのが市内の傾向です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• いわゆる、教員の受け止め方の個人差も影響してくると思います。視点の当て方についてなど、何か技術があるのですか。</li> </ul>
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 例えば、SNSでいうと、普段の使用方法を振り返るチェックリストを前回のいじめサミットの時に子供たちが作っており、それを検証するというのは子供たち自身がやっています。併せて、先生方については夏季研修会等を通して、世代問わず、トレーニングの一環として繰り返しやっていかなければいけないと思っています。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 見る目を研ぎ澄ますための研修は常時実施しながら、子供たちが安心安全な環境で生活していけるようにしないとイケないですね。</li> </ul>
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• もちろん、いじめの認知件数が多いことが手放しで良いと思っているわけではなく、ゼロに近いほうが良いですが、ゼロに近づけようと意識しすぎると、かえってアンテナの感度が鈍ってしまうことも考えられるので、先生方には大きな問題になる前にいじめの芽を摘む気持ちを持ってくださいと伝えていきます。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 早期発見のためのいじめ認知度ということですね。わかりました。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2点お尋ねします。まず危機管理対策についてです。錦支所で水害対策の防災訓練を実施したと聞きましたが、今、全国的に問題になっている熊の出没について、各学校、各支所の対応はどうなっていますか。</li> </ul>
村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本郷あたりは、毎年、熊出没の対策で何かしていたのではないですか。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• クマよけの鈴を配っています。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 朝方、または通学時に熊が出た場合の対応の仕方など、何か対応策を作ったほうが良いと思います。岩国にも熊はいますからね。</li> </ul>
岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 玖珂もちよくちよく出るんですが、登校直前に熊が出没したというメールは届いていたけれど、保護者は朝の時間で見えてなくて後から心配になったという話は聞いたことがあります。</li> </ul>
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 警察やハンターとの連携など、対策等を含めたマニュアルがあると保護者は安心できると思います。</li> </ul>
教育次長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般的には、熊を目撃したり痕跡を発見したりということがあれば、目撃者、発見者は警察に連絡し、市民メールでお知らせとして届くかたちになります。実際に捕獲となると、やはり猟友会の方に依頼するという流れになるかと思っています。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 美和地域などで特別にやっていることなどはありますか。</li> </ul>
美和支所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昨年度、美和小学校と中学校の教頭先生から熊の撃退スプレーの購入依頼がありましたので、唐辛子成分の入った撃退スプレーを購入し美和小・中学校と本郷小・中学校へ配布しました。もし学校に熊が出た場合には、教頭先生がスプレーで対応するようになっています。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 登下校中に熊情報が出た場合は保護者へ連絡して付き添ってもらうよう</li> </ul>

<p>村尾委員 美和支所長</p>	<p>になっていますよね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危ないので、スプレーで対応しない方が良いんじゃないですか。</li> <li>・学校から強い希望があったので配布していますが、実際に去年使用したという報告はありません。10メートルくらいは液が飛ぶそうです。</li> </ul>
<p>教育長 渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備えとして持っておくということですね。</li> <li>・いずれは中心部などにも出る可能性がありますので、対応策等の検討をお願いします。</li> </ul>
<p>科学センター館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう1点は新しい科学センターへの交通手段についてですが、以前、いわくにバス等と協議するという話があったと思います。センターの供用開始と同時にバス路線もできるようなかたちになっているのですか。</li> <li>・現状では黒磯団地行きが1時間に1本程度ありまして、バス停は新たに新設予定ですが増便は難しいとの話でした。灘小学校と線路との間に、JR藤生駅から施設へ向かうための市道を新設改良予定ですが、オープンには間に合いません。駅から歩いて1キロもないので、完成すればJRで駅まで来て徒歩で行く方が便利だと思われまます。現在もそうですが、自家用車での来館が多いと予想しており、駐車場は十分な数を整備しています。</li> </ul>
<p>渡邊委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングまでに、駐車場は十分整備されていることや、交通手段についてももしっかり周知していただきたいと思います。</li> </ul>
<p>岡崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の地域展開についてですが、10月8日（水）に岩国市PTA連合会のBブロック会議があつて、スポーツ推進課の職員さんから改めて説明をいただき、意見交換もさせていただきました。20人くらい参加者がいましたが、結構細かい話もしながら、他の学校との意見交換も行いました。今まで、部活動の地域移行は保護者にとっては一方的な話だと感じている部分もあり、反発心も持っていましたが、今回しっかり意見を聞いていただいて、疑問に対する回答もいただけて、保護者も子供たちのために携わっていただける雰囲気を感じられてとてもよかったと思いました。今後、各ブロック会議、女性代表会議にも来ていただいて、違う地域の方の話も聞いていただけることになりましたので、保護者も前向きな気持ちになっていけたらと思います。</li> </ul>
<p>岡田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど市民大学講座のレクチャーコンサートに行かせていただき、音楽教師としても原点に立ち返ることができました。小ホールいっぱいの参加者が熱心にメモを取られている姿を見て、私たちは学校教育や家庭教育にとらわれがちですが、生涯学習、100歳まで学び続けるサイクルをいかに作っていくかが教育委員会の大事な役割のひとつだと改めて感じました。</li> <li>・昨日は麻里布小学校の合唱指導に伺いました。十分に力のある子供たちで、音楽祭がとても楽しみです。</li> <li>・部活の地域展開の関係で、吹奏楽連盟とたまたま市民文化会館で遭遇し</li> </ul>

	<p>て、練習の様子を見ていたんですが、小ホールでは保護者説明をするブースを作って、大ホールではいろんな先生方と小学生から高校生までの子供たちが一緒に演奏していました。吹奏楽の世界は、夏から秋にかけて土日の休みが全くないような状況で、学校に所属しているから手当は出るんだけど、地域展開していく場合、どこが主体性をもって運営していくのか、資金面ですね。学校から出ないとなると、連盟が出すのか、受益者負担で活動に来た子供たちが出すのか、そのあたりをきちんと整理することがこれからの大きな課題だと思います。1番時間外が多いのはどの学校も吹奏楽部顧問だと思います。ここを変えていかないと、「だから音楽の教員にならないんです」という人が実はたくさんおられます。力のある学生たちも、部活の地域移行がはっきりしないからと言われていました。今の若い人は多くの免許を取りますが、いざ就職するときは、土日に休めて定時に帰れることを優先します。今の若い人の風潮をきちんと考えて、世代間の考え方の違いをきちんと理解しないとちぐはぐになってくると思います。教育実習は感激して帰るんですが、採用試験を受けてくれない。倍率を上げていかないと教育の質は下がると思っています。学校を魅力ある職場にすることを真剣に考えないといけないと思います。</p>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別にないようでしたら、以上で報告第14号を終わります。</li> <li>・ 次に、日程第3「議案第29号 令和7年度岩国市社会教育功労賞の表彰について」を議題といたします。なお、この日程につきましては、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</li> </ul>
各委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異議なし。</li> <li>・ 御異議なしと認め、日程第3は非公開とします。非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は御退席願います。</li> <li>・ 生涯学習課から説明をお願いします。</li> </ul>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩国市社会教育功労賞の表彰につきましては、社会教育関係の活動に顕著な功績のあった市内の社会教育関係団体及び個人に対し、隔年で表彰するものでございます。本年7月に関係団体、関係各課に調査を依頼したところ、候補者として3人の方の推薦があり、9月22日(月)の選考委員会で選考しましたので、岩国市社会教育関係団体等表彰規則第4条の規定に基づき、教育委員会に決定していただくため、本日議案として提出しております。お手元の資料、3人の候補者について五十音順に申し上げます。岩国市連合婦人会会長推薦、嶋田祥子様。岩国ユネスコ協会会長推薦、高原八重子様。岩国市連合婦人会会長推薦、吉田和江様です。3人の方につきましては、参考で添付しておりますが、岩国市社会教育功労者表彰要綱第4条第4号の「25年以上にわたり、社会教育、生涯学習の発展に貢献をするとともに、その業績が全県または全国的な</li> </ul>

教育長	<p>評価を受けているもの」に該当しております。活動経歴等につきましては、配布資料の通りです。なお、社会教育功労賞の表彰式につきましては、来年1月22日（木）午前11時から本庁6階議会会議室で行う予定です。以上、御審議のほどよろしく申し上げます。</p>
各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今の説明に、御意見・御質問がございましたらお願いします。</li> <li>・別のないようでしたら、議案第29号は原案の通り決することに御異議ございませんか。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異議なし。</li> <li>・御異議なしと認め、議案第29号は原案の通り決します。</li> <li>・本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回定例会は、令和7年11月10日（月）岩国市役所本庁2階特別会議室において、9時30分から所属長会議を、10時から教育委員会会議を開催いたします。</li> </ul>
教育長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもちまして、令和7年第12回岩国市教育委員会会議を終了いたします。</li> </ul>

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 村尾 利勝

教育委員 岡崎 陽子